

9. 食道がん

○: 専門とするがん △: グループ指定により対応しているがん ×: 診療を実施していないがん
 ※別紙4に入力した内容が反映されています。
 ※診療を実施していないがんについて、表の記載は不要

集学的治療・標準的治療の提供体制
 ○: あり △: グループ指定により対応(地域がん診療病院のみ選択可) ×: なし ○

当該疾患の診療を担当している診療科名と医師数			治療の実施状況(○: 実施可/×: 実施不可) / 昨年の実績(あり/なし) ※平成25年1月1日~12月31日									各診療科における当該疾患の治療の特色・患者さんへのメッセージなど	当該疾患の治療に関する内容が掲載されているページ				
主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患を専門としている医師数	手術		内視鏡的治療		化学療法	放射線療法		光線力 学療法	ページの見出しとアドレス ※トップページ以外を2つまで記載してください ※アドレスは、手入力せずにホームページからコピーしてください		掲載されている内容				
			開胸手術	胸腔鏡下手術	EMR	ESD		体外照射	小線源治療				治療内容	治療実績	医師の専門分野		
1 消化器内科	14	10	状況	×	×	○	○	○	×	×	×	食道、胃、十二指腸、小腸、大腸といった消化管の疾患に対しては訓練されたスタッフと最新の機器を装備した内視鏡センターにて高度医療を提供しています。早期の食道、胃、大腸癌に対して内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)を行います。	ア	消化器内科 http://www.gh.opho.jp/patient/examination/34.php	掲載あり	掲載あり	掲載あり
			実績	なし	なし	あり	あり	あり	なし	なし	なし		イ	http://			
2 消化器外科	5	3	状況	○	○	○	○	○	×	×	×	食道癌では進行度に応じた先進的な取り組みを行い、Stage II, III, 一部のIV症例には術前化学療法(DCF療法)の後に根治切除術を行います。胸を大きく開く従来の食道切除術と異なり、うつ伏せの姿勢で胸壁に1cmの穴を5つ開けてカメラ下に食道切除を行う腹臥位鏡視下食道切除術を標準術式として	ア	外科 http://www.gh.opho.jp/patient/examination/38.php	掲載あり	掲載あり	掲載あり
			実績	あり	あり	あり	あり	あり	なし	なし	なし		イ	http://			
3 放射線治療	2	2	状況	×	×	×	×	×	○	○	×	Novalis Tx による定位照射、IMRTを積極的に行っています。	ア	放射線治療科 http://www.gh.opho.jp/patient/examination/75.php	掲載あり	掲載あり	掲載あり
			実績	なし	なし	なし	なし	なし	あり	あり	なし		イ	http://			
4			状況										ア	http://			
			実績										イ	http://			
5			状況										ア	http://			
			実績										イ	http://			

グループ指定を受ける施設との連携状況 ※グループ指定を受ける場合のみ記載すること	
---	--

昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成25年1月1日~12月31日	例: 食道がん 食道がん
------------------------------------	-----------------